うけにいるの魁

ひがしのうち

大関　ちいさの縁江戸へ出てむしゆうに江戸あたりのふ人

関脇　なやの在で悪の者ともるかやでその間でまで説る人

小結　縁談うちておおきやうへ嫁とうけあるむへまとよてあるく人

前頭　かおことつまにたちあるそ色のゆうかほれしてある人

前頭　蓋屋へいてむさんかうは女をてんがうをる人

前頭　けいこやのどうかふところかなならずしてあるく人

前頭　よいとしをしてもさままからくちといふ人

前頭　あるむかゆうじとさしてさいかりてあるく人

前頭　おむねそうひふいそ二うねへあがりてまりてある客

前頭　ぞへろうあつむまとのて行のうへの安売さそあるく人

前頭　神ぞとろしてあるかおとのてうらう金とうかむく男

前頭　けいこたてかいておいとの三味せんとりてひく客

にしのうち

大関　修とうさそ銀合ものたびと入とまでさびそあるく人

関脇　おちやの門へさておむねをよびじそするときやく

小結　むまげんきをして内役のたおおえしをるかんざ

前頭　まうらへまておむねげいこの名といふてよぶ客

前頭　湯ふくいうかさしてあうへゑまうにあんしあめく女

前頭　上下と名てこんさびをそいてあるくだんな

前頭　家みたてまいて紙もせねおまつ〇しておるさあく

前頭　おむねは状とのしふてかと入へいきて揚がるく人

前頭　あたゐへおむねはいふそへまとならうし浪の座敷のむしてゐる客

前頭　鍋中はおむねかふて二ういうへおりそうへる座敷のうか

前頭　湯ゐるりげいこよんでまんなをあかいく浄るりかる客

前頭　茶やへいてかどのおむねをのらひまわり揚てある客

書[illegible]板